

2014年9月30日
日 野 市
イオン株式会社

日野市とイオン株式会社との 相互協力・連携に関する協定の締結について

本日、東京都日野市（市長：大坪冬彦）とイオン株式会社（代表執行役社長：岡田元也）は相互協力・連携に関する協定の締結に合意しました。

このたびの協定は、日野市の一層の活性化及び市民サービスの向上に向けて、相互の連携を強化することを目的に締結しました。

本協定の締結により、日野市とイオンは、日野市のまちづくりに関する連携に努めるほか、市民の健康維持増進、産業の活性化及び地域雇用創出、環境保全、災害対策、電子マネー「WAON」を活用した地域振興などについて協力し、さまざまな取り組みを進めてまいります。

本協定の取り組みの第一弾として、イオンは日野市が土方歳三などを輩出し、新選組にゆかりの深いことから、新選組の隊旗をモチーフにした「ひの新選組WAON」を本年11月1日（土）より発行します。イオングループの店舗をはじめ、マクドナルド、ファミリーマートなど全国約190,000箇所の「WAON」加盟店で「ひの新選組WAON」を利用してお支払いされた金額の一部をイオンが寄付し、日野市の産業振興に役立てていただきます。

また、「ひの新選組WAON」の発行に合わせて、同カードを活用した「ひの新選組ポイント」サービスが開始されます。同サービスはひの新選組ポイント運営事務局が、イオンおよびイオングループのフェリカポケットマーケティング株式会社と連携し実施する日野市内限定のポイントサービスで、地域に密着したお買い物の利便性を高め、地域活性化の一助となるべく開始するものです。日野市内でのお買い物や飲食店をはじめ、さまざまなシーンでご利用いただけます。

このたびの協定締結を機に、イオングループは総力を挙げて、日野市のまちづくりや、地域の皆さまを対象にした新しいサービスの創出などに連携して取り組んでまいります。

記

【本協定の概要】

- (1) まちづくり及び地域づくりに関すること
- (2) 市民の健康維持増進に関すること
- (3) 産業の活性化及び地域雇用創出等に関すること
- (4) 緑化及び環境保全に関すること
- (5) 災害対策、防災及び防犯に関すること
- (6) 日野市版WAONカード等の活用に関すること
- (7) その他地域社会の活性化及び市民サービスの向上に関すること

以上

ご参考

【「ひの新選組WAON」について】

販売日：2014年11月1日（土）

販売場所：東京都、神奈川県、千葉県、山梨県のイオン65店で販売を開始し、その後、順次全国のイオンで販売します。

※イオン多摩平の森店のオープンまでは、現地に設置する「ステージゲート」でご購入いただけます。

カード販売目標：初年度3万枚

発行手数料：1枚300円（税込み）

チャージ上限金額：上限5万円（1回あたりのチャージ金額は2万9,000円）

【カードデザイン】



【WAONの概要】

累計発行枚数：約4,350万枚（2014年8月末現在）

年間利用件数：約9億件（2013年度）

年間利用金額：約1兆5,800億円（2013年度）

平均利用単価：約1,750円（2013年度）

利用可能箇所：約19万0,000箇所（2014年8月末現在）

※うち自販機・宅配便ドライバー端末 約11万7,000箇所

【日野市とイオン株式会社との相互協力・連携に関する協定の背景について】

2014年11月20日オープン予定の「イオンモール多摩平の森」が立地する日野市の多摩平の森地区は、緑豊かな環境を有し、多くの企業や大学等が周辺に立地する地域です。当地区において、日野市は「まちの魅力を次世代に引き継ぐコンパクトなまち」の実現に向け、まちづくりを進めています。日野市とイオンは、多摩平の森と共存し、人がふれあい、賑わいが創出されるよう、「イオンモール多摩平の森」が地域の多種多様な人の交流・連携する拠点として活用される取り組みを進めてまいります。